

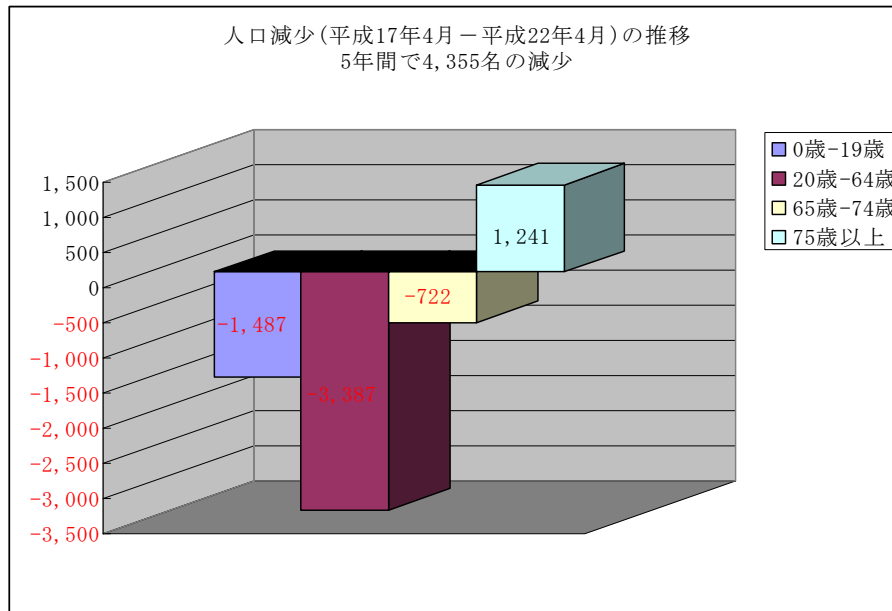
平成 23 年度 社会福祉法人萩市社会福祉事業団 事業計画書

1. はじめに

萩市における高齢者の状況は、高齢化率(65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合)が34%を超え3人に1人が65歳以上の高齢者となっています。特に医療依存度が高い75歳以上の後期高齢者は約19%近くを占め、5人に1人が後期高齢者となっています。

また、萩市では過疎化が進み、平成17年4月の時点から平成22年4月の5年間に於いて4,355名の人口が減少しています。経済不況の煽りで職がないせいか74歳以下の人口が減り、75歳以上の後期高齢者が増えている状況です。(図1)

こうした状況から特別養護老人ホームかがやきへ入所申し込みをしている方も180名を超えています。また、在宅では認知症の高齢者が増え徘徊や家族による虐待等も増えていて対応にも苦慮しています。



こうした状況を少しでも早く解決できるように椿西小学校跡地の福祉複合施設(指月園・救護所・ケアハウス)の要望を昨年度から続けてきましたが、平成23年度山口県予算において実施することが決まりました。平成24年度内竣工を目指して準備して行きたいと考えています。

また、昨年度は、職員採用の困難さから就職情報サイトの「マイナビ」の導入を図りました。山口福祉文化大学の初めての卒業生もあり新卒者11名を採用することができましたが、今年度は新たに萩市須佐・福祉複合施設やまびこ(旧萩市高齢者保健福祉支援センターやまびこ)の指定管理の受託並びに社会福祉法人 パール 萩事業所の事業廃止に伴い、パールの事業を引き継ぐことから、事業が更に拡大することになりますし、平成25年度には椿西小学校福祉複合施設が開設することから、将来的な職員の確保はますます難しくなると予想されています。

以上の状況を踏まえ、社会福祉法人 萩市社会福祉事業団では平成23年度の事業計画を次のように策定します。

2. 新規事業

(1) 萩市須佐・福祉複合施設やまびこの指定管理受託

- ① 萩市須佐高齢者生活支援ハウスやまびこ
- ② 萩市須佐デイサービスセンターやまびこ
- ③ 萩市在宅介護支援センターやまびこ

(2) 萩市ヘルパーステーションやまびこの運営

(3) 萩市指定居宅介護支援事業やまびこの運営

(4) 離島ヘルパー養成

第1回 大島 平成23年7月～平成23年9月予定

第2回 見島・相島 平成23年9月～平成23年11月予定

2. 新規整備事業等

(1) 救護所、指月園の移転新築並びにケアハウス整備事業

(総事業費約23億1,500万円)

山口県の補助採択が決定しましたので椿西小学校跡地の福祉複合施設整備に着手します。

(2) 地デジ化への対応(事業費約150万円)

本年7月24日アナログ放送が終了するため、各施設の地デジ化への対応を行います。

(3) やまびこ屋根・エアコン・スチコン補修(事業費約850万円)

萩市の補助を受け萩市須佐・福祉複合施設やまびこの設備補修を行います。

(4) マシントレーニング機器(事業費約300万円)

ニューステップ 2台 マッサージ機 1台

(5) パソコン整備(事業費約100万円)

パソコン定期更新

4. 職員採用計画

本年4月の年齢別職員構成は20代86名、30代105名、40代92名、50代87名、60代37名の合計407名、平均年齢約42歳と予想されています。新卒採用が難しい中、中途採用者の増加、退職者の継続雇用を増やしてきたこともあり60代の職員が増えています。新旧職員の入れ替え、ケアハウス等の新規事業が予定されていることから新卒の職員採用が課題となっています。本年度は、山口福祉文化大学の初めての卒業生もあり新卒者12名を採用することができましたが、今後ますます新卒者の採用が難しくなると予想されていることから計画的に新卒職員の採用を行っていきたいと考えています。

職員採用年度計画

年度	看護職員	介護職員	合計
24年度	2名	10名	12名
25年度	2名	12名	14名
合計	4名	22名	26名

5. 福祉人材養成支援

将来の福祉を担う人材の養成を支援します。

- ・ ヘルパー2級の自主養成（離島を含む）
平成23年7月～9月・平成23年9月～11月・平成24年1月～3月予定
- ・ ヘルパー2級課程実習受託
- ・ 社会福祉士実習受託
- ・ 介護福祉士実習受託
- ・ 看護師実習受託

6. システム開発

昨年は、デイケア、デイサービスの業務管理システムを主に開発してきましたが、今年度は、主に職員管理システムの構築を図り、職員一人ひとりの資格、研修履歴等の一括管理、人事評価履歴が管理できるシステムの構築を図りたいと考えています。

7. 介護予防啓発事業

現在、かがやき、楽々園、おとずれにおいて、マシンを使った介護予防を実施しています。今年度は、新しく指定管理を受けました萩市須佐デイサービスセンターやまびこにおいてもマシンを使った介護予防に取り組みたいと考えています。

- ・ 萩市デイサービスセンターかがやき
- ・ 萩市デイサービスセンター楽々園
- ・ 萩市デイサービスセンターおとずれ
- ・ 萩市須佐デイサービスセンターやまびこ

8. 財政基盤の安定化

平成24年度には、介護報酬の改正も予定されています。国の予算が厳しくなっていることから、どのような厳しい改正が行われるかわかりません。どのような改正になっても対応できる安定した財政基盤の図るため本年度は以下の事業を実施します。

(1) 養護老人ホーム萩市指月園及び萩市救護所の運営

両施設の建替えが決定し、法人が建替えを行うことから4月1日に両施設を萩市より譲り受けます。指定管理者から法人独自の運営となります。

(2) 介護保険事業の実施

居宅介護支援事業や居宅サービス事業を実施し、介護を必要とする方の支援および在宅福祉の充実を図ります。また、要支援と認定された高齢者が要介護状態になることを予防し、自立した日常生活を営むことができるように支援するための介護予防サービスを提供します。

①居宅介護支援事業

- ・ 萩市指定居宅介護支援事業所かがやき
- ・ 萩市指定居宅介護支援事業所楽々園
- ・ 萩市指定居宅介護支援事業所やまびこ（新規）

②訪問介護事業

- ・ 萩市ヘルパーステーションかがやき

- ・ 萩市ヘルパーステーション指月園
- ・ 萩市ヘルパーステーションやまびこ(新規)

③通所介護事業

- ・ 田万川小規模デイホーム うたたね
- ・ 小規模デイホーム 朝陽の家

④訪問看護事業

- ・ 萩市訪問看護ステーションかがやき

(3) 福祉施設の管理運営

指定管理者として萩市の公設施設の管理運営を行い、市民の福祉向上に努めます。

① 萩・福祉複合施設かがやき

(指定期間:平成 22 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

- ・ 萩市特別養護老人ホームかがやき(利用料金制度)
- ・ 萩市老人保健施設かがやき(利用料金制度)
- ・ 萩市デイサービスセンターかがやき(利用料金制度)
- ・ 萩市在宅介護支援センターかがやき

②萩市無田ヶ原口・福祉複合施設おとずれ

(指定期間:平成 20 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

- ・ 萩市無田ヶ原口デイサービスセンターおとずれ(利用料金制度)
- ・ 萩市無田ヶ原口高齢者生活支援ハウスおとずれ
- ・ 萩市無田ヶ原口在宅介護支援センターおとずれ

③萩市中津江・福祉複合施設なごみ

(指定期間:平成 22 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

- ・ 萩市中津江認知症高齢者グループホームなごみ(利用料金制度)
- ・ 萩市中津江デイサービスセンターなごみ(利用料金制度)
- ・ 萩市在宅介護支援センターなごみ

④萩市楽々園

(指定期間:平成 22 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

- ・ 萩市デイサービスセンター楽々園(利用料金制度)
- ・ 萩市在宅介護支援センター楽々園
- ・ 萩市こどもデイサービスセンター楽々園

⑤萩市生きがいと健康の村

(指定期間:平成 22 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

- ・ 萩市老人福祉センター

⑥萩市見島ふれあいセンター

(指定期間:平成 22 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

- ・ 萩市高齢者生活支援ハウスみしま
- ・ 萩市デイサービスセンターみしま(利用料金制度)
- ・ 萩市在宅介護支援センターみしま

⑦萩市かがやき介護予防センター

(指定期間:平成 22 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

⑧萩市須佐・福祉複合施設やまびこ(新規)

(指定期間:平成23年4月～平成27年3月31日)

- ・萩市須佐高齢者生活支援ハウスやまびこ
- ・萩市須佐デイサービスセンターやまびこ(利用料金制度)
- ・萩市在宅介護支援センターやまびこ

(3) 受託事業

以下の事業を萩市より受託します。

① 要介護認定調査業務

介護保険制度における要介護認定調査を萩市より受託します。

- ・萩市指定居宅介護支援事業所かがやき
- ・萩市指定居宅介護支援事業所楽々園
- ・萩市指定居宅介護支援事業所やまびこ(新規)

② 介護予防支援業務

介護保険制度における要支援の方の介護予防サービス・支援計画書の作成を萩市より受託します。

- ・萩市指定居宅介護支援事業所かがやき
- ・萩市指定居宅介護支援事業所楽々園
- ・萩市指定居宅介護支援事業所やまびこ(新規)

③ ケアプラン指導事業

保健・医療・福祉の専門家等からなる指導チームが、具体的な介護サービス計画の事例調査及び指導並びにケアプラン作成技術向上のための支援を行い、ケアプラン及びそれに基づく介護サービスの質的な向上を図ります。

④ 特定高齢者介護予防事業

特定高齢者に対し、マシントレーニング等介護予防のための手法を用いて要介護状態にならないよう支援します。

- ・萩市デイサービスセンター楽々園
- ・萩市デイケアセンターかがやき
- ・萩市無田ヶ原口デイサービスセンターおとずれ
- ・萩市須佐デイサービスセンターやまびこ(新規)

⑤ 一般高齢者介護予防事業

一般高齢者に対し、マシントレーニング等介護予防のための手法を用いて要介護状態にならないよう支援します。

- ・萩市デイサービスセンター楽々園
- ・萩市デイサービスセンターみしま
- ・萩市無田ヶ原口デイサービスセンターおとずれ
- ・萩市須佐デイサービスセンターやまびこ(新規)

⑥ リハビリテーション機能強化事業

萩市民が要介護状態にならないよう支援するため、萩・福祉複合施設かがやきのリハビリテーションの機能の強化を図るとともに、リハビリテーションが受けられない離島の方へのリハビリテーション支援を行います。

- ・萩市老人保健施設かがやき

⑦ 萩市シルバーハウジング生活支援員派遣事業

配置された生活援助員（ライフサポートアドバイザー）が入居高齢者に対し、日常の生活指導、安否確認、緊急時における連絡等のサービスを提供します。

- ・シルバーハウジング玉江
- ・シルバーハウジング中津江
- ・シルバーハウジング無田ヶ原口

⑧萩市在宅介護支援センター運営事業

- ・萩市在宅介護支援センターうたたね

⑨萩市生活支援デイサービス事業

概ね 65 歳以上の介護保険の対象とならない方に対して生きがいと社会参加を促進するとともに、社会的孤立感の解消、自立生活の支援を行います。

- ・萩市デイサービスセンター楽々園
- ・萩市デイサービスセンターみしま
- ・萩市無田ヶ原口デイサービスセンターおとずれ
- ・萩市須佐デイサービスセンターやまびこ（新規）

⑩萩市生活支援ホームヘルパーサービス事業

概ね 65 歳以上の介護保険の対象とならない方に対して日常生活の支援を行い、在宅で自立した生活が継続できるよう支援します。

- ・萩市ヘルパーステーションかがやき
- ・萩市ヘルパーステーションやまびこ（新規）

⑪萩市生活支援ショートステイ

概ね 65 歳以上の介護保険の対象とならない方に対して、老人福祉施設への短期の宿泊により、日常生活の指導、支援を行い要介護状態への進行を予防するとともに、介護者の負担軽減を図ります。

- ・養護老人ホーム指月園

⑫萩市外出支援事業

離島における保健・医療・福祉機関を利用する 65 歳以上の移送困難な高齢者に対して、自宅等から渡船場まで移送を行います。

- ・萩市デイサービスセンターみしま

9. 理事会・評議員会の開催

①評議員会の開催

- ア. 第 1 回評議員会 平成 23 年 5 月下旬開催
- イ. 第 2 回評議員会 平成 24 年 2 月下旬開催

②理事会等の開催

- ア. 第 1 回理事会 平成 23 年 5 月下旬開催
- イ. 第 2 回理事会 平成 24 年 2 月下旬開催

10. 監査

1. 書面監査 年 2 回（11 月下旬・5 月中旬開催）
全施設及び事務局を対象に会計諸帳簿、契約書その他の書類について実施
2. 決算監査 年 1 回（5 月中旬開催）

決算報告に関する事項について実施

11. 会議等の開催

1. 管理者会議 年 12 回
2. 事業所別職員会議 年 12 回
3. その他会議・各専門部会 . . . 随時

12. 職員資質・専門性の向上

研修の実施等により人権意識の向上とともに福祉に携わる職員として必要な知識・援助技術の向上を図ります。

- ・ 新人内部研修
- ・ 職能内部研修
- ・ 各種外部研修
- ・ 社会福祉士実習指導者の養成
- ・ 介護福祉士実習指導者の養成

13. 情報の提供

ホームページによる情報の提供

14. 中・長期計画

(1) 新しい住まいの創設を考える

新しい住まいの創設として、萩市指月園、萩市救護所の移転と同じくしてケアハウスの創設を中・長期計画へ位置づけていました。今年度山口県の補助採択が決定しましたので、今後は、高齢者専用賃貸住宅やグループリビング等の整備を目標としたいと思います。

(2) 旧町村へ福祉サービスの充実を図る

市町村合併により、旧萩市と他の町村の福祉サービスの差をいかにして埋めていくかということが萩市社会福祉事業団の法人の使命としてあげられます。法人として旧町村で事業展開を行う拠点が必要となってきます。

平成 17 年 6 月には田万川小規模デイホームうたたねを田万川地区に、また平成 19 年 4 月には小規模デイホーム朝陽の家を佐々並地区に開設しました。

これからも住民ニーズを把握し、新しい福祉サービスの充実を図ることを考えています。

(3) 介護予防の充実

萩市の高齢化率は、34%を超えています。高齢化に伴い、要介護高齢者も増えていきます。できるだけ要介護高齢者の増加を防ぐために介護予防の充実を図らなければなりません。

旧萩地区では、かがやき、楽々園及びおとずれにおいてマシンを使った介護予防に取り組んできましたが、今年度は、新たに「やまびこ」においてマシンを使った介護予防に取り組めます。

(4) 強固な経営基盤の確立

平成 24 年度には介護報酬の改正が予定されています。リーマンショック以来、経済状況は悪化し、税収の落ち込みから国の借金は大きく膨らみました。今後、借金財政の建て直しを図らなければならないことから近い将来には厳しい経営環境が待ち受けていることと思います。法人全体での収益の増加を図り、より安定した運営を確保したいと考えています。

(5) 人事管理、研修制度の充実

職員の専門性などキャリアアップを図るため職員の研修体系の確立が必要とされています。人事管理システムの構築を図り、職員一人ひとりの研修履歴、資格等を把握し、職員の適正な評価が行われるようなシステムの構築を目指します。